



学校だより

学校の教育目標 「じりつする子供の育成」



学校の様子をご覧ください。

<http://www.nyuzen-e.tym.ed.jp/>

助けてください！

校長 齊藤 康

令和8年度が始まり2週間となります。年度初めのせいか私自身はやたら出張が多く情けないことに子供たちの様子を実際に見てしっかり把握することができておりません。もちろんできる限り隙間時間を見つけて、朝の登校や授業、休み時間の子供の様子を見てきました。そのわずかな時間ですが、気になること(私自身は緊急事態だと感じています)があります。それは、子供たちの言動です。子供たち全員というわけではないのですが、「死ね」や「うざっ」「キモ」等まだまだここでは書けないような言葉を発している子供が目立ちます。それを聞いた周囲の子供たちはニヤニヤしていたり、知らぬ顔で通り過ぎていったりします。よい雰囲気ではありません。言われた子供はどう受け止めているのでしょうか。自分を守るために受け止めずに流しているのでしょうか、もしくは人知れず傷ついているのでしょうか・・・。言っている子供はどういうつもりで言っているのでしょうか・・・。現在は、ゲームを含めたSNSが発達し、子供たちも見たり発信したりすることができます。一概にそのことが悪いことだとは思いませんが、そこには「死ね」「うざっ」「キモ」・・・相手の気持ちを想像もせず傷つける言葉も多く流れているのが現実です。自分自身を確立していない子供たちは様々な人、モノ、こと、に影響を受けて育ちます。上述のSNSだけとは思いませんが様々なところから影響も受けて今があるのだと思います。相手を傷つける言葉を思わず言ってしまう。私は何とかやめさせたいと思っています。もちろん私たち教師は人の心を傷つけるような言葉を容認してはなりません。できる限りその場で真剣に子供へ指導をしています。しかし指導を受けている際の様子を見ると子供の心にしっかりと教師の言葉が染みていない感じがします。それでも教師はくじけずに粘り強く「この子のより良い成長のため」と思い、歯を食いしばって続けています。苦い気持ちを飲み込みながら一生懸命取り組んでいます。そこで、助けてほしいのです。保護者の皆さんのお子さんが心を傷つけられる被害者、傷つける加害者にならないためにも、ぜひご家庭でも「言葉の使い方」についてお子様に話し続けていただけないでしょうか。お子様のより良い成長のために、何卒よろしく願いいたします。

(参考までに裏面に県校長研修会で配布されたいじめに関する資料の一部を載せました。)

朝7時40分くらいには私は校歌が刻まれているモニュメントの近くで、登校してきた子供たちに挨拶しています。私よりも先に「おはようございます」と挨拶してくる子や手を振ってくる子、何も言わず通り過ぎる子(心の中で挨拶しているのだと思います)たちが登校時刻(7時50分～8時)に間に合うようやってきます。心配なのは玄関が開くのを待っている間、追いかけてこをしたり、木に登ったりする子供たちがいることです。もちろん気付い

たら注意するのですが「道路に出ないか」「木から落ちないか」とても心配です。教師は子供たちを迎え入れるため教室等で準備をしています。そのため玄関前を見守る人員が足りません。どなたか7時40分から7時50分までの間、玄関前を見守りボランティアをしていただけないでしょうか。ご協力くださる方は、入善小学校まで電話していただけますか。無理を言っているのは承知しておりますが、ご検討をよろしくお願いいたします。